学校番号	207

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書Ⅰ」　（光村出版）						
副教材等	ペン習字の基礎　（教育図書出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させ、用具用材によって表現の幅が広がること学びましょう。
・書道の経験が無くても取り組めるよう基本から始めます。積極的に取り組む姿勢が大切です。
・平仮名や楷書体・行書体・篆書体など様々な書体を体験し、用具用材を使いこなし、自分らしい文字を書くことが出来るようになることをめざします。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。
・年度末に作品展を行い、作品発表と相互鑑賞の場を設けます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
楷書体・行書体・隷書体の歴史と技法、仮名の歴史と基礎的な散らし書きの技法、漢字仮名交じり制作の技法、刻字作品の技法等の理解と習得を目指します。
【思考力、判断力、表現力等】
楷・行・隷三書体の特徴を活かした漢字創作、墨の潤渇効果を活かした仮名作品、文字の大小や行の配置を工夫した漢字仮名交じり作品等の制作を通して、思考力・表現力等を育みます。
【学びに向かう力、人間性等】
基本的な書表現が出来るよう研鑽を重ね、書の伝統と文化についての理解を深めることによって、生涯にわたり書を愛好する心情等を育みます。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	書の表現方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 書写能力の向上とともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け表している。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。 書作品について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	楷書体の学習	古典の学習を通じて、楷書体の用筆・運筆について学ぶ。 ・九成宮禮泉銘 ・孔子廟堂碑　他	a：古典の特徴を理解し、用筆・運筆の技法を習得している。楷書体の書道史的価値や美を理解・感受している。 b：書風の違いと表現の要素を理解し臨書に活かしている。 c ：数多く臨書し、意欲的に表現を工夫しようとしている。	プリント 清書作品	プリント 清書作品	振り返りプリント 練習作品 観察
	行書体の学習	古典の学習を通じて、行書体の用筆・運筆について学ぶ。 ・蘭亭序　他	a：行書の成立過程や字形・用筆の特徴を知る。蘭亭序の船室や点画の特徴を理解し、その技法を習得している。 b：蘭亭序に関心を持ち、その美を味わおうとしている。 c： 数多く臨書し、意欲的に書表現を工夫しようとしている。	プリント 清書作品	プリント 清書作品	振り返りプリント 練習作品 観察
	篆刻制作	姓名印を作る。 ・７分印、３分印 ・楷書行書の清書に押印	a:表現効果を意識し印稿を作っている。印稿・布字・運刀の知識や技能を習得している。 b:様々な印を鑑賞し自身の書に押印することによって、表現効果を感受している。 c:篆刻に関心を持ち、主体的に取り組んでいる。	プリント 印箋 押印作品	プリント	振り返りプリント 観察
	硬筆の学習	硬筆の学習 ＊１年に渡り随時実施	a:字形の整え方を理解し、基礎的・基本的な字形・書式の技法を身に付けている。 b:技能の習得に関心を持ち、主体的に取り組んでいる。 c:硬筆に親しみ、積極的に取り組んでいる。	硬筆手本 完成度	硬筆手本	硬筆手本 進捗状況 観察

2学期	仮名の学習	仮名の説明 ・いろは文字 ・変体仮名 ・俳句を書く	a:仮名の成立と種類を理解している。仮名の基本的な筆使いや連綿技法を身に付け、積極的に表現技法を高めようとしている。 b:墨色は黒一色ではないことを理解し、その良さを味わっている。 c:数多く臨書し、意欲的に書表現を工夫しようとしている。	プリント 清書作品	プリント 清書作品	振り返りプリント 練習作品 観察
	刻字	楷書（行書）体を用いて1字書を行い、石膏ボードに刻す。 ・原稿作り ・彫りの工夫 ・彩色の工夫	a:書体の用筆方法を理解し、表現を工夫している。彫り方や彩色による表現効果を理解し、表現する方法を身に付けている。 b:紙以外の素材で表現することに関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 c:刻字制作に関心を持ち、主体的に取り組んでいる。	プリント 毛筆原稿	プリント	振り返りプリント 練習作品 観察
	漢字仮名交じり文	好きな詩を題材に、漢字と仮名とが調和した作品をつくる。 ・字句選び(15字程度) ・構成の工夫 ・用具用材の工夫	a:表現の狙いを定め、イメージを作品化するため、既習の知識・技能を活かしている b:作品を互いに鑑賞・批評し合うことによって、表現の意図と技法の効果について理解を深めている。 c:書作品に関心を持ち、主体的に制作に取り組んでいる。	プリント 清書作品	プリント 清書作品	振り返りプリント 練習作品 観察
3学期	表装	表装を学ぶ ・作品選択 ・裏打ち ・パネル張り(額装)	a:裏打ちの技法と効果を理解し、自身の作品に活かしている。 b:製作意図に基づいて創造的に構想し、個性豊かな表現を工夫している。 c:主体的に表装を通しての表現活動に取り組んでいる。	プリント 表装作品	プリント	プリント 振り返り 作品 観察
	作品鑑賞	校内作品展で相互の作品を鑑賞し批評する。	a:既習分野を再認識し、感想・批評を言語化することで知識技能の深化を図る。 b:互いに鑑賞・批評し合うことによって、表現の意図や効果の理解を深めている。 c:他者の作品にも関心を持ち、主体的に鑑賞に取り組んでいる。	鑑賞メモ	鑑賞メモ	鑑賞メモ 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度